

令和7年度

おきなわ農林水産物県外出荷促進事業  
(流通環境整備) 補助金

— 事例集 —

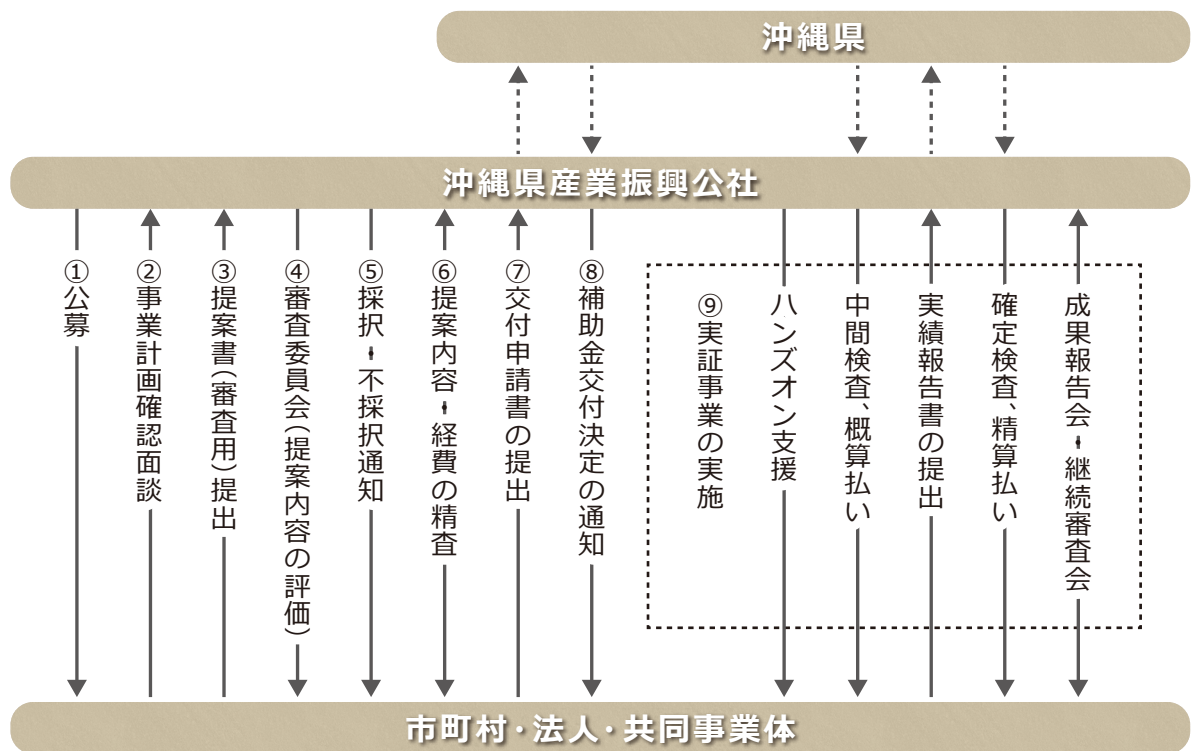
『運ぶ』を考える  
実証系補助金

おきなわ農林水産物県外出荷促進事業(流通環境整備)補助金  
**「沖縄県農林水産物 流通合理化」実証事業**

事業概要

沖縄県から県外へ出荷される**県産農林水産物**の  
 物流ネットワークの構築に向けた取組みを支援します。  
 輸送コストの低減および総合的な流通の合理化(生産者や出荷者の課題解決  
 または所得向上等)を図る実証事業への取組みに利用できる補助金です。

■ 事業の流れ



■ 支援までの流れ



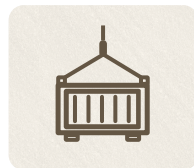
## ■ 実証取組(例)



鮮度保持



共同出荷



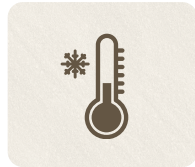
混載



ストックポイント



輸送効率化



コールドチェーン



コスト分析



その他

## ■ 支援内容

- 対象者：1.沖縄県の北部市町村及び離島市町村  
2.沖縄県内に事業所を有する法人、または  
代表事業者が沖縄県内に事業所を有する法人である共同事業体

- 補助期間：補助金交付決定日から翌年2月末まで（最長3年度）

- 補助上限額：**2,000万円**

- 補助率：1年目10/10、2年目9/10、3年目8/10以内（但し、北部・離島市町村は2年目以降も10/10以内）

- 対象経費：職員人件費、事務補助員賃金、賃金、旅費、備品購入費、需用費、役員費、委託料、使用料及び賃借料、報償費、その他事業に必要な経費

## ■ 令和7年度 採択テーマ一覧

事業者名	採択テーマ
有限会社サニー沖縄	端境期を活かした沖縄県産かぼちゃの流通高付加価値化実証事業
一般社団法人北大東島振興機構	北大東産陸上養殖ヒラメのEC直販実証事業
伊江村	伊江島産島らっきょう共同配送連携モデル構築実証事業
宮古島市	宮古島市 農産物流通効率化・収益向上モデル実証事業
宮古島漁業協同組合	宮古島漁協 スマート水産モデル実証事業
八重山漁業協同組合	操業情報システム構築支援
沖縄県農業協同組合	wavemagicによる鮮度保持効果の検証
沖縄県農業協同組合	トルコギキョウ出荷箱変更による輸送コスト削減

CASE

1

## 有限会社サニー沖縄



実証  
テーマ

端境期を  
活かした  
沖縄県産かぼちゃの  
流通高付加価値化実証事業

※端境期＝収穫期前後の供給不足時期

実施  
目的

沖縄県産かぼちゃの流通における品質管理と販売戦略を抜本的に見直し、端境期（1月～4月）における高単価販売を実現するための体制構築を目的とする。

事業  
概要

沖縄県産かぼちゃの出荷体制を見直し、関東・関西に冷蔵保管拠点を確保。高品質な商品を最適なタイミングで販売する新たな流通スキームを実証する。



取組事例・効果

- 千葉県と兵庫県の倉庫会社と連携したストックポイントの設置
- 強化段ボール導入による破損および品質低下ロスの防止
- 品質確保と迅速な出荷体制構築による納品単価の向上



かぼちゃ圃場



風乾中のかぼちゃ



ストックポイント(一時保管場所)

CASE

2

## 一般社団法人北大東島振興機構



実証  
テーマ

北大東産  
陸上養殖ヒラメの  
EC直販実証事業

実施  
目的

高品質な北大東産ヒラメの付加価値を最大化し、生産者の所得向上と地域経済の活性化を図るとともに、北大東島における持続可能な水産業の振興を目指す。

事業  
概要

北大東産の陸上養殖ヒラメの直販モデル（個人向け・業務用）構築に向けた輸送技術の実証を行う。



取組事例・効果

- 輸送コスト低減に向けたEC専用出荷箱（耐水段ボール）の作成
- 本島内水産卸との連携による飲食店向け供給ルート構築
- イベント開催による認知度向上および新規顧客獲得



屋外養殖水槽



活魚展示商談会



EC 出荷箱試作品

CASE

3

## 伊江村

実証  
テーマ

伊江島産  
島らっきょう  
共同配送  
連携モデル  
構築実証事業

実施  
目的

伊江島の特産物である「島らっきょう」の出荷体制を見直し、個別配送から共同配送による効率化と物流合理化を図る。  
また、模倣品流通防止のため、輸送ルートの確立によるブランド保護を目指す。

事業  
概要

- ① 島外へ個別配送していた荷物を集約し、沖縄本島内での共同配送を実施する
- ② 県外出荷に向けたパイロット出荷により輸送ルートを構築する



取組事例・効果

- 県内共同配送実現に向けた島らっきょう販売先の募集
- 県外バイヤーの招聘および県外市場視察による販路開拓
- 栽培講習会および目揃え会の実施による品質基準の統一



展示会出展



バイヤー招聘



共同配送

CASE

4

## 宮古島市

実証  
テーマ

宮古島市  
農産物流通  
効率化・  
収益向上モデル  
実証事業

実施  
目的

宮古島における農産物の生産・流通体制の強化ならびに、それによる農業所得の向上、さらには持続可能な農業の確立を目指す。

事業  
概要

- ① 土壌改良と栽培方法の水平化により品質の統一を図る
- ② 生産者参加による出荷体制構築と集約販売先との連携により輸送効率化を図る
- ③ 鮮度保持輸送および保管技術の導入により販売期間延長とロス削減を目指す



取組事例・効果

- 有機栽培導入に向け、微生物資材等の検証を目的とした試験栽培や有識者招聘・先進農場視察による勉強会を実施
- 大手小売チェーンとの契約栽培内定
- 鮮度保持機能を搭載した冷蔵コンテナでの保存試験



鮮度保持コンテナ



試験栽培圃場



勉強会

CASE

5

## 宮古島漁業協同組合

実証  
テーマ

宮古島漁協  
スマート水産モデル実証事業

実施  
目的

モズク・マグロ・クルマエビの生産・加工・流通体制を一体的に強化し、作業の効率化・収益機会を最大化することで、地域漁業の持続的発展を目指す。

事業  
概要

- ① 機器導入による加工処理の省力化及び加工能力の向上を図る
- ② CAS 冷凍の活用による高品質な冷凍処理を実施する
- ③ クルマエビ養殖の再開と事業化を目指す



取組事例・効果

- カゴ洗浄機、フォークリフトの導入による作業効率化
- CAS冷凍マグロの大量・安定輸送方法の検証
- 健康なクルマエビの育成と安全な商品化



養殖クルマエビ



フォークリフト



カゴ洗浄機

CASE

6

## 八重山漁業協同組合

実証  
テーマ

操業情報システム構築支援

実施  
目的

沖合でのマグロ等の漁獲状況をシステム導入によりリアルタイムで把握。過年度に確認できた効果を隻数拡大により地域水産物流通の効率化を図る。

事業  
概要

システム実装の漁船数の拡大により、安定的な運用やデータ活用による事業化・自走化に向け運用構築等の検証を行う。



取組事例・効果

- 過年度実証事業で構築したシステムを基に、新たな機能改善を行い漁獲情報の自動入力化による作業時間の大幅な削減
- 実装漁船数を前回の4隻から14隻へ拡大し、効果を検証



システム管理画面



AI カメラ



システム搭載船舶

CASE

7

## 沖縄県農業協同組合

実証  
テーマ

wavemagicによる  
鮮度保持効果の検証

実施  
目的

保管庫内への鮮度保持機器（wavemagic）設置により鮮度保持期間の延長と輸送中の劣化防止による商品価値の向上を目指す。

事業  
概要

- ①環境の異なる場所において、時間経過による見た目や食味の変化について比較検証する
- ②輸送中の劣化に伴う商品価値の低減及び廃棄ロス率の改善を検証する



取組事例・効果

- 常温および冷蔵環境に分けてwavemagic処理を行い、青果物の鮮度保持効果を比較検証



電磁波発生装置



電磁波照射区(常温)



電磁波照射区(冷蔵)

CASE

8

## 沖縄県農業協同組合

実証  
テーマ

トルコギキョウ出荷箱  
変更による輸送コスト削減

実施  
目的

高価格帯で取引されるトルコギキョウの出荷箱の形状を工夫することにより、輸送コスト削減と利益率の拡大に取り組む。

事業  
概要

トルコギキョウの品質を変えずに横持ち（県外着後の陸送）運賃の削減を図るため、最適な出荷箱の規格について実証する。



取組事例・効果

- 出荷箱規格を見直し、1ケース/バンドから2ケース/バンド化による輸送効率の向上
- 従来の出荷箱から比較し49%の運賃で輸送可能となり、市場競争力が向上



仕分け作業



2ケースバンド化後



出荷準備

【令和7年度】  
おきなわ農林水産物県外出荷促進事業  
（流通環境整備）補助金  
— 事例集 —

問い合わせ先

公益財団法人  
**沖縄県産業振興公社**  
Okinawa Industry Promotion Public Corporation

《流通環境整備支援事業》

<https://okinawa-ric.jp/service/post-55.html>

E-mail: [logigourika@okinawa-ric.or.jp](mailto:logigourika@okinawa-ric.or.jp)

TEL:098-859-6239

